

## ひくまの：浜松医科大学附属図書館報. No. 74

メタデータ	言語: ja 出版者: 浜松医科大学附属図書館 公開日: 2024-03-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 浜松医科大学附属図書館 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10271/0002000169">http://hdl.handle.net/10271/0002000169</a>



Hamamatsu University School of Medicine Library Bulletin "Hikumano" No.74 Mar, 2024

# オープンサイエンスの潮流

## ～国内外の動向と図書館における支援～



### オープンサイエンスとは？

「オープンサイエンス」とは、論文や研究データなど、科学研究に関する資料をオープンに（公開）しようとする運動を指します。近年、迅速な研究発展や研究不正防止のため、研究成果のオープン化が求められています。オープンサイエンスの中でも論文等、研究成果の公開を指す場合は「オープンアクセス（OA）」という語が用いられます。

### ■オープンサイエンスで何が変わるの？

オープンサイエンスによる影響は、論文やデータが公開されることにとどまりません。透明性の担保や既存データの別の研究への活用、研究評価の変化など、オープンサイエンスは研究の様々な場面に影響を及ぼし、研究スタイルを変えていくと考えられています。

#### オープンサイエンス前

- 共同研究者を論文から探す
- データを個々のシステムで管理、共有（退職等により失われる可能性も）
- 研究にまつわる実験を行う
- 査読プロセスは非公開
- 論文が学術雑誌に掲載後、評価される

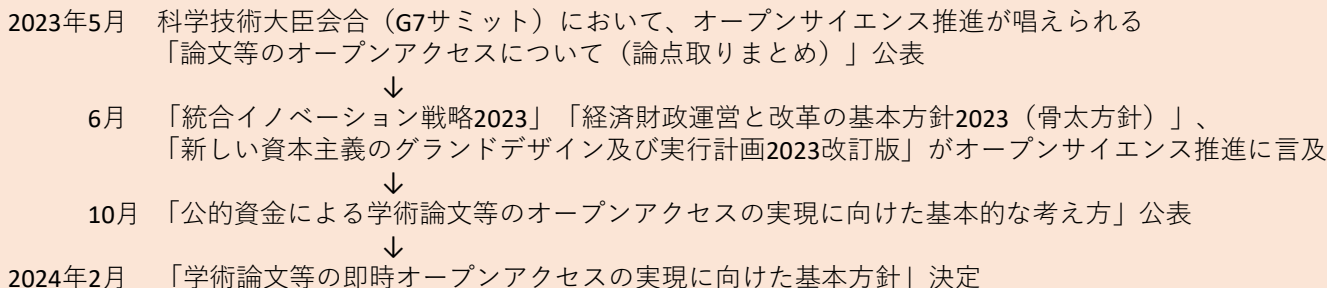


#### オープンサイエンス後

- 共同研究者を論文だけでなく、研究データからも探す
- データを機関共通のシステムで管理、共有、公開
- 公開されたデータを利用し、一部の実験の省略も可能に（研究の加速）
- 査読プロセスが公開され、論文の透明性が向上
- 全分野の論文、プレプリントの可視性が上がる
- データから研究プロセスを読み解くことで、研究への貢献度が明確に



2023年度、日本のオープンサイエンス政策に以下のような大きな動きがあったことをご存じでしょうか。



2024年2月に統合イノベーション戦略推進会議で決定された「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」では国の方針として正式に、対象となる公的資金に限り2025年度公募分から出版後即時のオープンアクセスが義務化されることが定められました。（対象の資金は「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針の実施にあたっての具体的方策」に記載。）2024年度は次年度に向け、制度や支援体制を整えていく段階になると考えられます。

（参考）

[「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」](https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf)

URL： [https://www8.cao.go.jp/cstp/oa\\_240216.pdf](https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf)

[「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針の実施にあたっての具体的方策」](https://www8.cao.go.jp/cstp/openscience/r6_0221/hosaku.pdf)

URL： [https://www8.cao.go.jp/cstp/openscience/r6\\_0221/hosaku.pdf](https://www8.cao.go.jp/cstp/openscience/r6_0221/hosaku.pdf)

## 諸外国のオープンサイエンスに関する取り組み

諸外国でも、オープンサイエンスに対して様々な取り組みが行われています。ここに挙げた事例は国や研究機関の取り組みが主ですが、研究の主体は研究者であり、オープンサイエンスが進展するには研究者の意識の変化や実践が欠かせません。

### イギリス

- ・機関リポジトリにおける論文公開（研究評価対象がリポジトリ収録の論文のみ）
- ・公的資金による研究成果の公開義務（The Wellcome Trust等）

### アメリカ

- ・NIHの助成による研究成果のPubMed Centralにおける公開義務
- ・科学技術政策局（OSTP）が2025年からの即時OA方針を採択

### フランス

- ・第2次2021～2024年 国家オープンサイエンス計画（2030年にオープンアクセス出版100%が目標）

### ラテンアメリカ諸国

- ・資金提供者である国家の管理のもと、オープンアクセス推進

### EU

- ・国境や研究分野を越えてデジタルな研究資料の蓄積、共有、加工、再利用を行う環境を包括的に整備（European Open Science Cloud）

### 中国

- ・「科学技術進歩法」においてオープンサイエンスをめぐる明確な規定を制定
- ・国策としてOA出版を推進

### オーストラリア

- ・メラノーマに関する研究データの公開、共有プロジェクト
- ・国の資金で研究データインフラを整備（Australian Research Data Commons）

### OECD

- ・「公的資金による研究データへのアクセスに関するOECD宣言」の採択

### UNESCO

- ・「オープンサイエンスに関する勧告」の採択

浜松医科大学小児科学雑誌（以下本誌）は2021年3月に創刊され、浜松医科大学学術機関リポジトリに登録することで掲載論文等を公開しており、医学中央雑誌にも掲載されています。小児科専門医試験制度では、受験出願までに査読制度のある医学誌への論文掲載が必須となっています。査読制度のある院内医学誌への掲載も認められていますが、浜松医科大学小児科の関連病院には院内誌を発行していないところもあり、浜松医科大学自体にも学内医学誌はありません。その場合、査読制度のある邦文または英文の医学誌、学会誌、あるいは商業誌に投稿し掲載される必要がありますが、査読期間や掲載決定までの期間が予測できず、出願期限に間に合わない可能性もあります。そこで、刊行日を見据えて投稿受付を行う医学誌を創刊する必要から、科内医学誌として本誌が生まれました。こうした経緯から当初、投稿者の8割以上が小児科専門医試験を控えた専攻医でした。しかしその内容は、査読者の尽力もあり非常に興味深く読み応えのある内容ばかりでした。その後、専門医取得後の若手あるいは中堅小児科医からの投稿も増えており、「オープンサイエンス」に目を向けていく段階にきています。

オープンサイエンスの柱のひとつに「オープンアクセス」があります。本誌は学術機関リポジトリ登録によりインターネットを通じて無料で公開されています。しかし、掲載論文は全て和文です。今後は海外からも自由に本誌にアクセスでき、論文の引用が可能となる方策を取り入れる必要があると考え、今年度より英文要約を必須としました。

また、オープンな評価もオープンサイエンスの重要な構成要素です。現在、多くの雑誌において著者の身元は明かされる一方、査読者の身元は著者に伏せられる形（シングル・ブラインド制）が取られています。これに対し、著者・査読者双方の身元を公開した上で査読を進める、さらには査読内容を公表するオープン査読を勧める動きもあります。一方、本誌では著者・査読者双方の身元を伏せるダブル・ブラインド制をとっています。これは、著者と査読者がいずれも浜松医科大学小児科およびその関連病院小児科に勤務する医師、あるいは浜松医科大学小児科同窓会会員であり、地位や所属先によるバイアスが生じやすい状況にあるからです。しかし、名前や属性を伏せたところで題名や本文の記述等から著者を特定することは容易であるとの指摘もあります。最近では、査読者名は匿名のまま査読内容のみ公開とするオープン査読を希望する研究者が多いとの報告もあります。この形であれば、本誌のオープン査読への展開も不可能ではないかもしれません。査読者の選定に頭を抱えている状況でまだまだ課題はありますが、オープンサイエンスの潮流を捉えていきたいと考えています。

(右図) 浜松医科大学小児科学雑誌  
創刊号表紙



## 図書館におけるオープンサイエンス支援

現在、国内の多くの大学は機関の成果を収集、公開する場所として学術機関リポジトリを備えており、本学も「**浜松医科大学学術機関リポジトリ**」を運用しています。本学ご所属の方の論文等を収録しておりますので、ぜひご活用ください。以下のタイトルは本学リポジトリで発行、又は公開しています。

- ・『浜松医科大学小児科学雑誌』
- ・『静岡産科婦人科学会雑誌』
- ・『DOHaD研究』
- ・『静岡県母性衛生学会誌』

また、ご自身の論文等の登録を希望される方は図書館までご連絡ください。（条件によっては掲載不可の場合があります。）詳細は以下のページをご覧ください。

(参考)

[本学の研究成果<br>\(リポジトリ・オープンアクセスポリシー\) | 国立大学法人 浜松医科大学附属図書館 \(hama-med.ac.jp\)](https://www.hama-med.ac.jp/lib/search/research_tobira.html)

URL : [https://www.hama-med.ac.jp/lib/search/research\\_tobira.html](https://www.hama-med.ac.jp/lib/search/research_tobira.html)

## エルゼビア社のトランザクションが 使えます

エルゼビア社の電子ジャーナル(ScienceDirect)の購読方法として、論文単位で購読する「トランザクション」を導入しています。購読誌として契約していない非購読誌について、1論文毎に購読料を支払うことにより利用することができます。

利用にあたっては、エルゼビア社ScienceDirectサイトでの事前登録が必要であるとともに、料金の半額(1,200円+税 \*2024年3月現在)を利用者側(所属部署の経費)でご負担いただくこととなります。

詳細は以下の[利用申請\(学内者限定\)](https://www.hama-med.ac.jp/lib/use/guide/shinseisyo.html#transaction)ページをご確認ください。

<https://www.hama-med.ac.jp/lib/use/guide/shinseisyo.html#transaction>



## 学外の方の利用受付を 一部再開しました!

2023年4月より卒業生及び地域の医療従事者(静岡県在住または在勤の方)の利用受付を再開しました。図書館資料の閲覧、複写および貸出が可能です。

利用の際には身分確認をさせていただいております。以下のページをご確認いただき、必要な証明書をご持参ください。

ホーム > 図書館を利用する > 利用案内・申込み > 卒業生・地域の医療従事者の方へ

<https://www.hama-med.ac.jp/lib/use/guide/iryuu.html>



\* 卒業生は申請を行うと特別利用(24時間利用)が可能です。利用証発行時にお申し出ください。申請には印鑑が必要です。

\* 今回対象外の方の利用受付の再開を検討中です。再開した際には図書館HPでお知らせします。

## 令和6年度 浜松医科大学附属図書館開館予定表

\* 開館時間が変更となる場合がありますので、最新情報は図書館HPでご確認ください

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

□ : 平日 9:00-20:00 □ : 土・日曜日 10:00-17:00 □ : 夏季休業期 9:00-17:00 □ : 休日